

ご家族の方へ

「子どもがひきこもりがちになっている」「子どもとどう接したらいいかわからない」
「これからどうなるか将来が不安」...

生きづらさを感じて悩んでいるお子様とどのように向き合えばいいか悩んでいるご家族の方、身内だけで解決しようと抱え込まずにぜひ相談してください。当センターは、多くの方に利用いただき、それぞれの方に合わせたプログラムをご用意しています。本人との関係が近いと、色々な感情がでてきてお互いに素直に話せないことも多いと思いますが、第三者の私たちが間に入ることで変わることもあります。お気軽にご相談ください。

●かかわりを学ぶ「家族教室」

不登校やひきこもり等の状態にあるご本人とご家族のかかわりについて学ぶ場です。ご本人、ご家族のこれからの暮らしについて考えていきます。

●理解を深める「講演会」

ひきこもりやニートなどの問題について、理解を深める講演会を実施しています。経験豊かな現場の講師をお迎えし、様々な観点からお話していただきます。

ご家族の声

息子についての話もちろんですが、私自身の話も聞いてもらいました。息子に対して、どうふるまうかの助言も頂き、心強かったです。私が毎回楽しそうに出かけたり、帰ってくると機嫌がいいのを息子も感じていたようです。通いだして1年ほどたったある日、「あんたもいく？」とふと尋ねると、「行くわ」とのこと。今は息子が2週間に1回、私が1か月に1回ほど話を聞いてもらっています。息子は今度グループの企画にも参加するそうです。家で息がしやすくなりました。

利用者さんの声をホームページに掲載しています。それぞれに合わせた進み方があります。
イベント情報も発信中。「堺市ユースサポートセンター」で検索。 <https://www.sakaiyouth.net/>



お問合せ

堺市ユースサポートセンター

(子ども・若者総合相談センター/堺地域若者サポートステーション)

※堺市から委託を受けNPO法人み・らいずが運営しています。



[対象者]

0歳～49歳の方(予約制・相談無料)

ご相談は電話、FAXにて受け付けています。

来所による相談を希望される場合は事前にご連絡ください。(要予約)

TEL:072-248-2518 受付時間: 9:00～17:30(土・日・祝日・年末年始除く)

FAX:072-248-0723

〒591-8037

堺市北区百舌鳥赤畑町1丁3番1 堺市三国ヶ丘庁舎5階

(南海高野線・JR阪和線三国ヶ丘駅西口よりすぐ)

google map>>



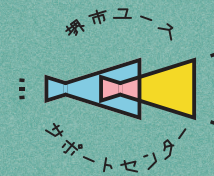
悩みを話せる
居場所が
あることを
知ってほしい

生き方や
働き方は
ひとつだけ
じゃない



ひきこもり、不登校、ニート、非行...
様々なつらさを感じている
0歳から49歳の子ども・若者たちや
そのご家族のための総合相談窓口です。
一人で悩まず、まずはご相談ください。

相談
無料

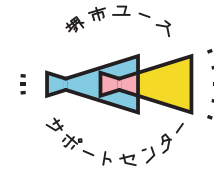


堺市ユースサポートセンター
www.sakaiyouth.net



子どもと若者の総合相談窓口

【対象年齢：0歳～49歳】



堺市ではひきこもり、不登校、ニートなどの状態にある方のための相談と支援を行なっています。様々な理由で不安を抱え前に進めていないのは、あなただけが特別なわけではありません。当センターでは多くの方から様々な相談を受けています。自分を否定しなくても大丈夫。まずはできることから一緒に一歩ずつ、ゆっくりと次のステップに。

こんなお悩み...

- ・他人とうまく付き合えない
- ・ひきこもりから抜け出したい
- ・失敗体験から抜け出せない
- ・自分の存在が何かわからない
- ・とにかく将来が不安
- ・身内以外の相談相手がほしい
- ・自信がもてない
- ・高校には行っていないけど大学か専門学校には行きたい
- ・アルバイトしたいが自信がない

POINT

ゆっくりと信頼関係を築くことから始めます



ゆっくりとお話をしましょう。身近な人には話しにくいことでもここでなら話すことができるかも。考えを押し付けることはありません。安心してもらえるまで信頼関係を築くことを大切にしています。

様々なプログラムで自信をつけていきます



1人ひとりの状況に応じて、あなたに合うプログラムと一緒に話し合い、選んでもらいながら、それぞれのペースに合わせてステップアップを目指します。

専門スタッフがサポートします



臨床心理士、社会福祉士、精神保健福祉士、保育士などの資格をもったスタッフや、教員OBや、警察OBも在籍しており、チームでサポートしています。

相談内容に応じて堺市などの支援機関の情報をお伝えします



堺市内には保健医療機関をはじめ、その他の支援機関がありお互いに連携をとってサポートしています。ご相談内容に応じて、必要な機関の情報やサービス内容をご紹介します。

CASE

それぞれに違う一歩の踏み出し方があります。ゆっくりと自分のペースで。

10代 ひきこもり

利用する前

高校で学校に馴染めず、自分の理想と現実とのギャップに悩みひきこもりに。1年2年と時間が経ち、中学の時に必死で勉強して高校に入ったのに、ひきこもって自分の人生はもう終わりだと感じて何もかも嫌になっていましたが、心の中ではなんとかしたいという焦りの気持ちもあり、でもどうしたら良いか分からないという状況でした。

利用してから

親に言われて話だけでもと思ひ話を聞きに。最初は緊張して話せなかったが、担当の方が自分の話を否定することなくじっくり聞いてくれたので、徐々に緊張もなくなり普通に話せるようになりました。その後も自分のペースでちょこちょこ話をしに行くようになり、実は同じような悩みを持った人がたくさんいるとわかり、自分だけじゃなかったんだと安心しました。アドバイスを受けて高校に行かなくても高校の卒業資格を取れることを知り資格を取得し大学受験にも挑戦できました。色々な方法で前に進めるチャンスがあるんだと思いました。

20代 入試失敗からニートに

利用する前

大学入試に失敗してからニートになりました。家族以外と話す機会が全くなく、自分に自信がありませんでした。親から多少のプレッシャーを感じてはいたのですが、なかなか一歩が踏み出せず、どうしたらよいか分からない状態でした。

利用してから

母親がユースで相談していて、一緒に行くようになりました。1対1の面談では話しやすい話題やゲームをやってみたりして担当者や場所に慣れることができました。小集団のグループ活動にも参加して継続して外出することで楽しみを見つけたり、担当者以外のスタッフとの交流を通して、人への緊張感を和らげることが出来ました。自分では思っていなかった得意なことなども面談やグループを通して気付くことができました。自分から話すことも苦ではなくなり、今後の未来の話や仕事の話も少しずつできるようになりました。

30代 ひきこもり歴15年

利用する前

卒業後、就職したのですが、上手くいかずすぐに退職しました。自信を失い、そのまま何もすることなく、ひきこもり状態が続いていました。何かするにはお金がいるし、できないな、と諦めることを繰り返しているうちに、趣味に関しても仕事に関しても、何かしたいと思うことはなくなっていました。

利用してから

ある日ふと、このままではだめだと強く思い、今を逃すといけないような気がして、自分から電話しました。まずは面談だけでしたが、徐々にグループワークにも参加するようになり、少しずつ、何かしたいという気持ちがよみがえってきました。面談でも、グループでの様子をフィードバックしてもらったりすることで、少し自信を取り戻しました。その後、これまでいろいろと上手くいかないと自信を失っていた原因が分かり納得。支援を受けながら働くという方法もあるのを知り、現在はその方向に向けてサポートを受けています。